

# Embedded Technology 2014 (ET2014) 出展報告

SEC 企画グループ 主任

荒川 明夫

IPA/SEC は、2014 年 11 月 19 日から 21 日にかけてパシフィコ横浜で開催された Embedded Technology 2014 (ET2014) に出展した。同会場内アネックスホールでは、ET2014 の主催者である一般社団法人組込みシステム技術協会 (JASA) と共催し、IPA セミナーを 2 日間開催した。

## 1. 展示会概要

Embedded Technology (ET) とは、一般社団法人組込みシステム技術協会 (JASA) が主催する組込みシステム技術に特化した国内最大規模の専門展であり、組込みシステム開発にかかわる技術者や開発者向けに最新技術などの情報を発信している。

## 2. 出展概要

IPA/SEC は、事業成果の普及・啓発を目的として、本展示会に出展しており、今回で 10 回目となる。本年は、6 コーナーを設け、IPA/SEC で取り組んでいる信頼性の高いソフトウェアを開発するための取り組みのみならず、セキュリティや人材育成などの取り組みについても幅広く紹介した。

また、パネル展示やデモの実施に加えて、ブースプレ

ゼンを行い、IPA 職員や SEC の事業成果普及に貢献いただいている連携委員、地域連携団体・組織からそれぞれの取り組みなどについて発表した。

## 3. IPA 展示ブース

展示ブースでは、以下のコーナーを設置し、該当する事業成果のパネル展示や関連資料の配布を行った。

- ・ 開発技術
- ・ システム障害事例・対策
- ・ 品質 / プロジェクトの見える化
- ・ 人材育成
- ・ セキュリティ
- ・ 地域連携

『開発技術コーナー』では、「ソフトウェア高信頼化への取組み」や「高信頼化を確保するための手法」に関するパネル展示のほか、「アジャイル開発」や「共通フレーム 2013」など、ソフトウェア開発において参考にしていただきたい情報を紹介した。

『システム障害事例・対策コーナー』では、JASA と共同開発を行っている事業であり、本展示会初日に新製品発表会場で記者発表を行った「モデルベースアプローチに基づく障害原因診断手法」について、デモ機を用いて紹介した。

『品質 / プロジェクトの見える化コーナー』では、ET-West2014 で記者発表を行った組込み系開発プロジェクトに特化した「組込みソフトウェア開発データ白書」の



紹介のほか、ソフトウェア品質の説明力を強化するための様々な取り組みをまとめ、来場者に説明した。

『人材育成コーナー』では、情報処理技術者試験、i コンピテンシ・ディクショナリ など、IT 人材を育成するための事業を紹介した。

『セキュリティコーナー』では、組込みシステム開発に深く関連する自動車や医療機器の情報セキュリティや、「ファジング」「Android アプリの脆弱性の学習・点検ツール」など、セキュリティに関する事業を紹介した。

『地域連携コーナー』では、IPA/SEC と連携している全国各地の業界団体の中から 14 団体の事業を紹介した。

また、各コーナーでのパネル展示のほかに、関連資料の配布、「SEC10 年の歩み」パネルの展示、ブースプレゼン(39 セッション / 3 日間)、SEC 先端技術入門ゼミ(15 セッション / 3 日間) を実施した。

#### 4. SEC 先端技術入門ゼミ

本出展からの新企画として、ソフトウェア開発などの先端技術や各業界での取り組みを解説する初心者向けのチュートリアルである「SEC 先端技術入門ゼミ」を実施した。

セミナーやカンファレンスと異なり、受講者が直接、講師に質問をすることができるこの企画は、受講者だけではなく講師にも好評であった。受講者からは、今後も取り上げて欲しいテーマについて「ソフトウェア開発にしばったシステムエンジニアリング入門」や「形式手法によるモデリングの事例解説」などの要望をいただいた。講師からは「学校のような講義形式であったため、受講者の反応がよくわかった」や「受講者の理解度に応じて講義を展開していった」という意見が寄せられた。

#### 5. IPA セミナー

展示会場に隣接されたアネックスホールでは、本年も 11 月 20 日、21 日の 2 日間、IPA セミナーを 8 部構成で開催し、延べ 700 名の参加があった。

今回の IPA セミナーは、1 日目に「セーフティ&セキュリティ設計の見える化」や、「製品・サービスに必要なソフトウェア品質」など、IoT 時代に対応するソフトウェ

ア開発について講演したほか、超上流工程を支える新たな方法論である「コンセプトエンジニアリング」、「先進的な設計・検証事例にみる開発技術のトレンド」について、紹介した。

2 日目は、「環境変化への適応から考えるサイバーセキュリティ対策」や「障害解析から再発防止・未然防止につなげる活動事例と教訓を共有する仕組み」、「ソフトウェア開発データ白書」の取り組みを紹介し、記者発表を行った「モデルベースアプローチに基づく障害原因診断手法」についても講演した。



#### 6. ET2014 を振り返って

今回の出展は、過去 10 回の出展の中で、最も多くの方に IPA 展示ブース及び IPA セミナーに足をお運びいただいた。アンケートや展示会場で来場者の方からいただいた多くのご意見を次回出展の参考とし、今後の IPA 事業活動に反映していきたい。今後も例年どおりの出展方法ではなく、今回実施した「SEC 先端技術入門ゼミ」のように、新たな企画にも挑戦し、来場者・参加者の理解度・満足度向上に努めていく。

ET2014 IPA/SEC ウェブサイト

<http://www.ipa.go.jp/sec/events/20141119.html>

- IPA セミナー・IPA ブースプレゼン・SEC 先端技術入門ゼミの講演資料がダウンロードできます
- IPA セミナーの動画を公開しています